

雨につよい豊田をめざして

みんなで取り組もう！

豊田市の雨水対策

雨水貯留・浸透施設の設置にご協力ください。



東海豪雨時の豊田市内の状況

豊 田 市

雨の日も快適なまちづくりのために

森林や田畑など、自然が多い地域へ降った雨は、地面にしみ込んでからゆっくりと河川へ流れ込みます。

しかし、都市が発展すると、家屋や道路の舗装などが増えて、雨が浸透できる場所が少なくなり、降った雨は河川へ集中して流れ込んで、水害の起きる危険性が高くなります。

また、地面に浸透する雨が少なくなると、地下水や湧水が枯渇したり、河川の水量が減少するなど自然の水循環にも悪影響を及ぼします。

○雨水流出形態の変化

(開発が進む前)



(開発が進むと・・・)



こうしたことから、市では自然の水循環を保全する雨水流出抑制対策を、行政だけでなく、市民や事業者の方と協力して進めます。

そのため、宅地や敷地内に雨水貯留・浸透施設を設置する方に、その工事費の一部を補助する制度を始めました。



《東海豪雨時の豊田市内の状況》

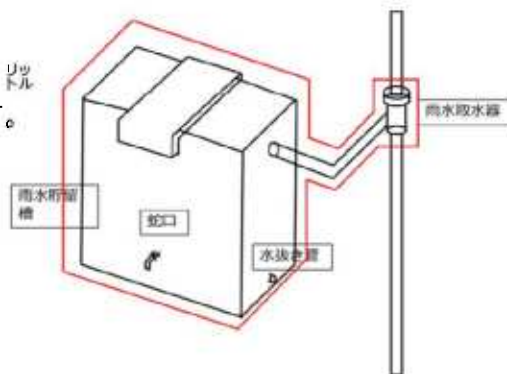
○雨水貯留・浸透施設とは…

雨水貯留施設

雨水貯留施設を設置すると、①大雨時に雨水を一時的に貯め、水害が軽減されます。
②植物への散水など雨水の有効利用ができます。

雨水貯留槽

敷地内に降った雨水を貯留する貯留容量が100^{リットル}以上の新設雨水貯留槽。雨水の利用にも効果的です。



《宅地への雨水貯留槽設置のイメージ図》

雨水浸透施設

雨水浸透施設を設置すると、①大雨時に雨水を地下へ浸透させて、水害が軽減されます。
②雨水が地下にゆっくり浸透し、地下水になります。
補助対象となる雨水浸透施設は、浸透ます、浸透トレンチ、浸透側溝、透水性舗装です。

浸透ます

透水性のますの周辺を碎石で充填し、集水した雨を側面や底面から地中へ浸透させる施設

浸透トレンチ

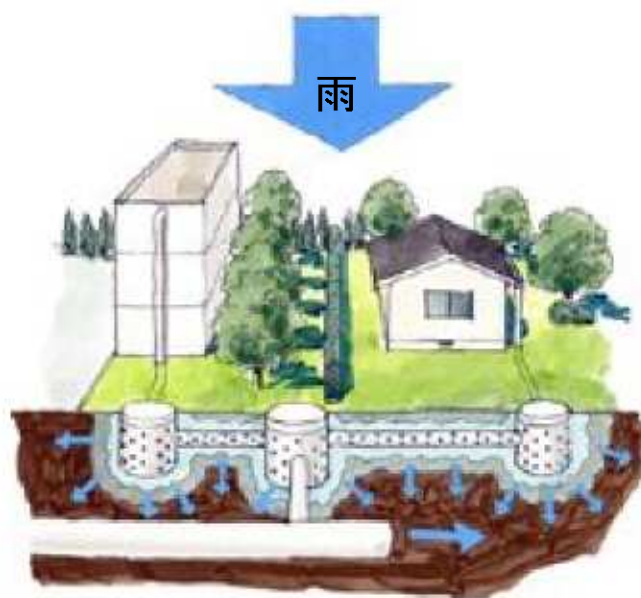
掘削した溝に碎石を充填し、さらにこの中に浸透ますと連結された有孔管を設置することにより雨水を導き、碎石の側面や底面から地中へ浸透させる施設

浸透側溝

側溝の周辺を碎石で充填し、雨水を側面や底面から地中へ浸透させる施設

透水性舗装

雨水を直接透水性舗装体に浸透させ、路床の浸透能力により、雨水を地中へ浸透させる舗装



《宅地への浸透施設の設置イメージ図》

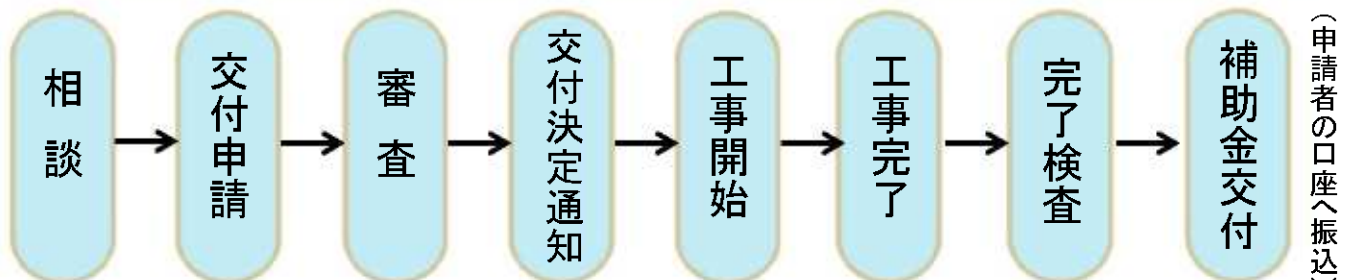
○補助の内容

補助金額

設置区分	規 模	補助率	上限額	
雨水貯留槽	100リットル以上300リットル未満	1/2	30,000円	
	300リットル以上1,000リットル未満		50,000円	
	1,000リットル以上		60,000円	
浸透ます	内径又は内法200mm以上		8,000円/基	
浸透レンチ	口径50mm以上		8,000円/m	
浸透側溝	内幅150mm以上		4,000円/m	
透水性舗装	浸透性材厚40mm以上		1,000円/㎡	
	路盤材厚100mm以上			
	フィルター砂厚50mm以上			
1申請あたりの補助上限額			200,000円	

※1,000円未満は切り捨て

手続きの方法



- 必ず施設の購入又は工事を始める前に補助金交付申請をしてください。購入又は工事開始後は申請できませんのでご注意ください。(申請から交付決定通知まで約2週間かかります。)
- 交付決定通知を受け取ってから、購入又は工事を開始してください。
- 工事の完了後14日以内に完了報告書を提出してください。ただし、年度末は3月15日(休日の場合は前日)が最終提出期限になります。必ずそれまでに工事を完了してください。

お問合せ先

上下水道局 下水道建設課

TEL : 0565-34-6624 (直通)

FAX : 0565-32-3171

Eメールアドレス : g_kensetu@city.toyota.aichi.jp

※ 詳細は豊田市ホームページでもご覧いただけます。

豊田市役所

〒471-8501 愛知県豊田市西町3丁目60番地

ホームページアドレス : <http://www.city.toyota.aichi.jp/>